

タヒチヌイトラベル発



2013年3月29日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。

皆様こんにちは！

今回は、世界第2位の大きさのランギロア環礁（第1位はグレートバリアリーフ）にある、「キアオラ・ソバージュ」をご紹介します！人気ホテルの「キアオラ」姉妹ホテルです。

タヒチに住んでいながら、なかなか機会を持てなかった“ロビンソン・クルーソー”生活。（ソバージュとは野生の、原始的な、という意味です）

そこには自然しかなく、全ての時間が自分の思いのまま！！オ・ト・ナの隠れ家です。

メインのモツにあるホテル・キアオラから船で約1時間。

その時の風向きや天候により航路は少し変わりますが、直線距離で約30km移動します。

ラグーンの中の移動なので、ほとんど揺れませんでした、こればかりはその時の天候次第…。

ラグーン内は比較的浅くて、天気の良い日の海の色はきれいな「青」。群青のような濃い色ではないのが南国情緒を掻き立てます。そして、ソバージュのあるモツが近付くと、だんだんエメラルド・グリーンに近付いていきます。



声にならない美しい海に感動しながらチェックイン。

5棟あるバンガローは、どこにも電気は通っていません。もちろんテレビなんてありません。

夕暮れが近づくと、1-2か月交替で住み込むタヒチアンスタッフがオイルランプを2個運んできてくれます。

炎のゆれは、心が安らぐものですね〜…そして、なんともロマンチックです。



寝て起きて、朝食。

白いビーチを散歩、暑くなったら目の前のラグーンにのんびりと浸かり、その後珊瑚の根の周りをスノーケリング…。バンガローのテラスで読書、ほら貝の音色で呼ばれたら昼食…。

木陰のハンモックで本を読みながらうたた寝。

また暑くなったら水に飛び込み、カヌーを引っ張り出してモツを一周…目の前に広がる珊瑚のかけらでできた中州で一休み。

浜にはたくさんの小さな小さなヤドカリがいて、見ているだけで微笑ましい。

夕暮れが近づき、光が柔らかくなってくる頃、ランプを受け取り、話したり、お酒を飲み、バーに集まったり、思いのまま。

そして夕食。

メインに出たマヒマヒがプリプリ!!

大自然の中で食べると、同じ食材でも、全く異なる味覚を呼び起こしてくれるのでしょうか。

夕食の後は星空観測。なんせ電気はバー兼ダイニングにしかありませんので、周りにはほぼ真っ暗。天の川のなんと濃い事か!!!皆様ご存じのオリオン座の中には、実はうなるほど星があるんですよ～。そんなところ見えます。



必要最低宿泊日数の2泊では、アクティビティの必要は感じませんでした。

私は「ロブスターが食べたい!取りに行こう!」とスタッフを誘ってみました。当日は風が若干強く、リーフに波が打ち付けて危険なために断念…。しかし、行ったところで自分で捕まえられるとも思えないのですが(笑)

とはいえ、普段、都会で忙しく生活をしている方々には、ちょっと上級すぎる「休日の過ごし方」になるかもしれません。

しかし、何もしない贅沢を、肌で感じてください。退屈～なんて思ってしまうのは、きっと普段が忙しすぎるせい…。

ソバージュへはなるべく荷物を少なく。貴重品やその他の荷物は出発桟橋のあるキアオラに預けて行きましょう。

携帯は、是非オフで。せっかくの“ソバージュ”ですから、堪能してください!

***今まで、携帯用のアンテナがなく不通でしたが、隣のモツの漁師さんがアンテナを立てたらしく、

風向きによっては電波が入るようになっていました。しかし、入るも入らないも風向き次第、運次第。

やはり電源はオフで!***

*** 気になる虫はハエと蚊以外ほぼいませんが、虫よけと虫刺されの薬は持って行きましょう!気になる方は、

顔にかぶせるネットなどもおすすめ。蚊取り線香は、お部屋に常備されています ***

*** 飲料用に、お部屋に1.5リットルのペットボトルが用意されています。 ***

*** バスタオル、フェイスタオル、ハンドタオル、シャンプー、ボディシャンプー、ボディミルク、石鹸の用意が

されています。アメニティはキアオラと同じ。シャワーはお湯が出ます。 ***